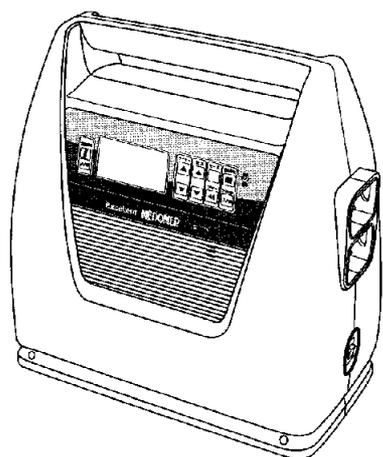


エクセレントメドマー

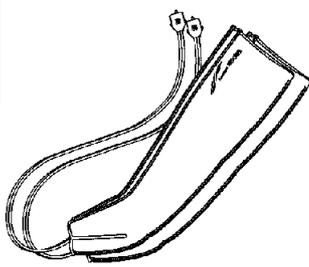
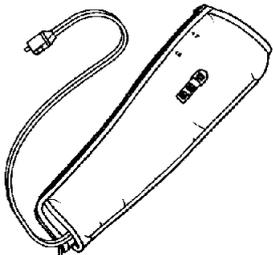
型式 EXM-12000A

医療機器認証番号
222AHBZX00025000



目次

安全上のご注意	1~4
各部の名称	5
本機の特徴	6
使用目的、効能又は効果	6
使用手順	6~15
お手入れと保管	16
定期点検のお願い	16
故障と思ったとき	17
ブーツまたはアームバンドおよび 本体の廃棄方法	17
仕様	18
保証・サービスについて	18
別売品のご案内	18

付 属 品	
ブーツセットの場合 (ブーツ2本)	アームバンドセットの場合 (アームバンド1本)
	

- このたびは日東工器製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に安全上のご注意を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・ご購入先名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。
ここに示した注意事項はお使いになる人やほかの人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
この取扱説明書に表示してあるマークの意味を十分に理解の上、本文を読んでください。

(1) 危害・損害の程度

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される場合。

(2) 絵表示

禁 止		禁止 を表します	強 制		必ずして いただきたい こと を表します	交 流		交流 を表します
		水場での 使用禁止 を表します			電源プラグを 電源コンセント から抜け を表します			クラスⅡ（電撃 に対する保護の 形式） を表します
		分解禁止 を表します						

警告

	次の人は、本機の使用を禁止します。 ●医師からマッサージを禁じられている人。 （例：血栓（塞栓）症、重度の動脈りゅう（瘤）、急性静脈りゅう（瘤）、各種皮膚炎および皮膚感染症〔皮下組織の炎症を含む〕など） ●発症後6ヶ月以内の下肢深部静脈血栓症を患っているか、もしくはその恐れのある場合。 ※「下肢深部静脈血栓症」とは、下肢全体または膝より下が腫れ上がって痛みがあり、立ったり歩いたりすると痛みが強くなる自覚症状のあることをいいます。 ●装着部におでき、やけど、虫さされなどの急性炎症や化膿性疾患がある場合。
	本機の改造、分解、修理は絶対にしないでください。事故の原因になります。

⚠ 注意

次の人は必ず医師と相談のうえ使用してください。症状や病因によっては使用に適さない場合があります。

- ペースメーカーなどの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器を使用している人
- 心臓に障害がある人
- 高血圧症と診断されている人
- 悪性しゅよう（腫瘍）のある人
- 糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人
- 体温38℃以上（有熱期）の人
（例：急性炎症症状[けん（倦）怠感、悪寒、血圧変動など]の強い時期、衰弱している時）
- 骨粗しょう（鬆）症の人、せきつい（脊椎）の骨折、急性【とう（疼）痛性】疾患の人
- 妊娠初期の不安定期または、出産直後の人
- 安静を必要とする人
- 特に身体に異常を感じている人
- 皮膚の弱い人
- 施療部位に疾患から生じるむくみや疼痛のある人
- 施療部位に骨折、脱きゅう、肉ばなれ、ねんご、皮膚に創傷のある人
- 上記以外の疾患で医師の治療を受けている人
- 自覚症状の意思表示ができない人
- 本機の使用によりかえって疼痛の増す人
- 本機を使用しても症状の改善が見られない人
- 腱鞘炎の人（アームバンド使用時に限る）

使用環境及び使用条件についての注意

ストーブなどの火気の近くで使用しないでください。火災・故障の原因になります。

マイクロ波治療器のアプリケーションからは1.5メートル以上離してご使用ください。安全装置が作動し、自動停止することがあります。

同時に複数の人が使用しないでください。事故につながる可能性があります。

子供だけで使用させたり、幼児の手の届くところで使用しないでください。事故につながる可能性があります。

他の治療器と同時に使用しないでください。本機の効果が十分発揮できないばかりか、身体に悪影響を及ぼす原因になります。

高齢者の方はハイパーモードまたはコースモードで使用しないでください。また、圧力設定は「6」以下で使用してください。事故につながる可能性があります。

ブーツとアームバンドを同時に使用しないでください。事故につながる可能性があります。

アームバンドは2本同時（両腕）に使用しないでください。事故につながる可能性があります。

自分で、意思表示できない人に使わせしないでください。事故につながる可能性があります。

治療目的以外には使用しないでください。事故につながる可能性があります。

通常、圧力設定は「6」以下で使用してください。特にお肌の弱い方は、圧迫痕が残ることがあります。

本体は使用中、操作できる所に置いてください。事故につながる可能性があります。

浴室などの湿気の多い場所で使用しないでください。故障・感電・火災の原因になります。

⚠注意

使用中の注意



30分を超えての使用はしないでください。筋肉に対して必要以上の刺激となります。また、次の使用までには少なくとも3時間以上の間隔をあげてください。

使用中に立ち上がったり、歩いたりしないでください。事故につながる可能性があります。



使用中にブーツ（アームバンド）の加圧・除圧に異常を感じた場合（加圧が異常に長い。または、除圧しない等）は、すぐに本体のエアソケットからエアプラグを抜き、ブーツ（アームバンド）を脚（腕）から外してください。また、本体は電源スイッチを「○」（OFF）にして、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。使用を続けた場合、身体に悪影響を及ぼす原因になります。この場合には、「使用手順」にしたがって、電源プラグを電源コンセントに差し込むところから始めてください。それでもなお異常がある場合には、お求めの販売店に点検を依頼してください。

身体に異常を感じたときは、直ちに使用を中止し、医師と相談してください。使用を続けた場合、身体に悪影響を及ぼす原因になります。

使用前に必ず圧力設定を「1」に設定してください。事故につながる可能性があります。

本体についての注意

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。

テーブルタップなどを使用した“タコ足配線”をしないでください。電源プラグや電源コードが熱くなり、火災や故障の原因になります。

本体に衝撃を与えないように、落としたり、倒したり、蹴ったりしないでください。故障の原因になります。

本体にはタオルや布地等を被せないでください。本体が過熱し、火災や感電の原因になります。



本体の上に物を載せないでください。本体が過熱し、故障の原因になります。また、振動の原因になります。

本体を倒したり、傾けた状態で使用しないでください。故障の原因になります。

本体を踏み台にしたり、上に乗ったりしないでください。事故につながる可能性があります。

電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、電源コードを引張らず電源プラグを持って引き抜いてください。また、電源コードを無理に曲げたり、重いものを載せないでください。電源コードが断線し、火災や感電の原因になります。

本体を保管するときは、電源コードを本体にまかないでください。電源コードの接続部が断線し、火災や感電の原因になります。



電源プラグは商用AC100V電源コンセントにつないで使用してください。AC100V以外で使用すると正しく作動しなかったり、火災や感電の原因になります。

電源コードが破損した場合は、お求めの販売店から電源コードを購入してください。

⚠ 注意



本体に水などをかけないでください。感電や故障の原因になります。



使用中に停電した場合は、電源プラグを電源コンセントから抜き、エアープラグをエアースocketから抜いてください。事故につながる可能性があります。

本機に異常（発煙、手でさわれないほど熱い、音が急に大きくなった等）を感じたときは、直ちに使用を中止し電源プラグを電源コンセントから抜いてください。その後、お求めの販売店に連絡してください。使用を続けた場合、火災や感電の原因になります。

使用後は、電源スイッチを「○」（OFF）にして、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。事故につながる可能性があります。

お手入れの際は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。感電の原因になります。

ホースおよびブーツ（アームバンド）についての注意



ホースおよびブーツ（アームバンド）は折り曲げたり、重い物を載せたりした状態で保管しないでください。ホースに折れや潰れ癖がつくと、加圧・除圧が正常に行われず危険です。また、ホースおよびブーツ（アームバンド）内にあるケーブルの断線の原因になります。

ホースは折れたり潰れたりした状態で使用しないでください。加圧・除圧が正常に行われず危険です。

針や刃物でホースやブーツ（アームバンド）に傷を付けないでください。事故や故障の原因になります。

ブーツ（アームバンド）は踏みつけたり投げたりしないでください。ブーツ（アームバンド）内部に取付られている電磁弁により足裏を負傷したり、電磁弁やブーツ（アームバンド）破損の原因になります。

メーカー点検用ファスナー（ブーツ（アームバンド）背面のファスナー）は開けないでください。



ブーツは脚に、アームバンドは腕に装着してください。正しい部位に装着されていない場合、身体に悪影響を及ぼしたり、事故の原因になります。

ブーツを装着するときは、ズボンのポケットなどに物が入っていないことを確かめてください。脚をけがしたり、ブーツの破損の原因になります。

アームバンドを装着するときは、腕時計や指輪などを身につけていないことを確かめてください。腕をけがしたり、アームバンドの破損の原因になります。

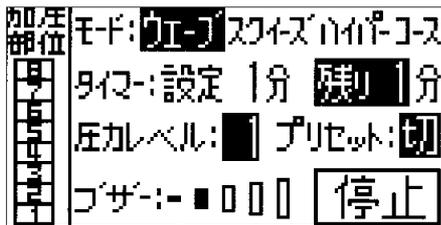
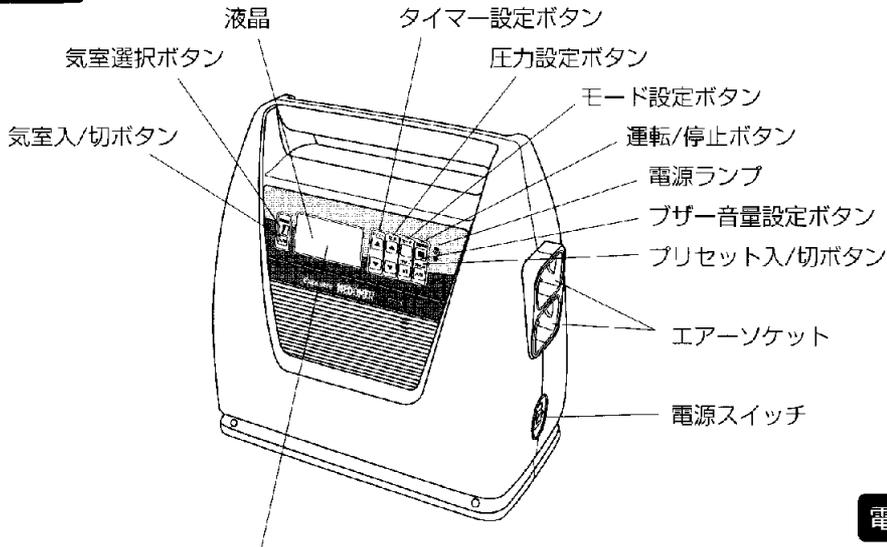
使用前に縫製品の破れの有無を点検し、破れがあるときは使用を中止してください。

使用中にブーツ（アームバンド）のファスナーが開く場合は、ファスナーの破損です。皮膚や衣類等をはさむ恐れがありますので、すぐに使用を中止してください。

付属のブーツ（アームバンド）または専用の別売品以外は使用しないでください。

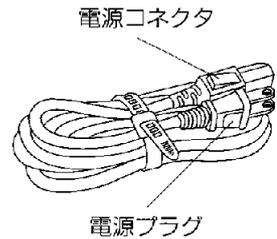
各部の名称

本体



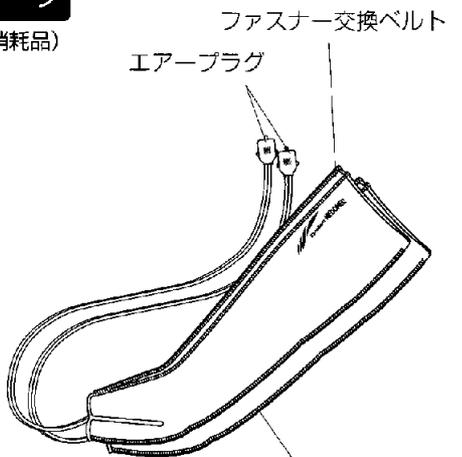
液晶表示

電源コード



ブーツ

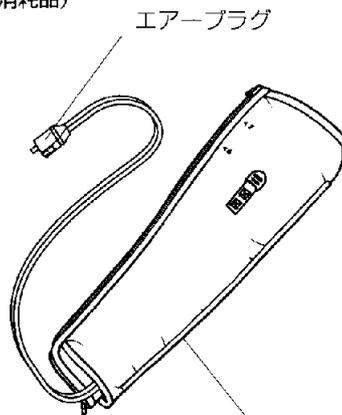
(消耗品)



メーカー一点検用ファスナー
(絶対に開けないでください)

アームバンド

(消耗品)



メーカー一点検用ファスナー
(絶対に開けないでください)

本機の特徴

- ソフトな空気圧によるマッサージなので、局所的な痛みや電氣的な刺激がなく、足先から太もも（指先から上腕）までまんべんなくもみ上げます。
- ブーツ（アームバンド）は8つの気室がバランスよく重なり合っているため、もみむらがなく効果的なマッサージができます。
- マッサージのパターンは4種類から選択できます。
- マッサージの強さは10段階から設定できます。また、マイコンで制御しているので脚や腕の太さに関係なく強さは一定です。
- 使用時間はタイマーで最大30分まで1分毎に設定できます。
- ホースの脱着はワンタッチ方式なため容易です。
- 体型に合わせて、ブーツ（アームバンド）の長さは3段階に調節できます。
- 症状によって、加圧しない気室を4つまで設定できます。

使用目的、効能又は効果

あんま、マッサージの代用。一般家庭で使用する。

- ・血行促進
- ・疲労回復
- ・筋肉の疲れ、こりをほぐす

使用手順

⚠注意



すべてのコード（電源プラグ、エアープラグ）は容易に離脱しないよう正しく確実に接続してください。

使用中に立ち上がったり、歩いたりしないでください。事故につながる可能性があります。

30分を超えての使用はしないでください。筋肉に対して必要以上の刺激となります。また、次の使用までには少なくとも3時間以上の間隔をあけてください。



操作ボタン（タイマー、圧力、モード、運転/停止、プザー、気室選択、気室入/切、プリセット）および電源スイッチが正常に動作することを確認してください。

ブーツは脚に、アームバンドは腕に装着してください。正しい部位に装着されていない場合、身体に悪影響を及ぼしたり、事故の原因になります。

ブーツを装着するときは、ズボンのポケットなどに物が入っていないことを確かめてください。脚をけがしたり、ブーツの破損の原因になります。

アームバンドを装着するときは、腕時計や指輪などを身につけていないことを確かめてください。腕をけがしたり、アームバンドの破損の原因になります。

⚠ 注意

使用中にブーツ（アームバンド）のファスナーが開く場合は、ファスナーの破損です。皮膚や衣類等をはさむ恐れがありますので、すぐに使用を中止してください。



使用前に必ず圧力設定を「1」に設定してください。事故につながる可能性があります。

通常、圧力設定は「6」以下で使用してください。特にお肌の弱い方は、圧迫痕が残ることがあります。

本体は使用中、操作できる所に置いてください。事故につながる可能性があります。

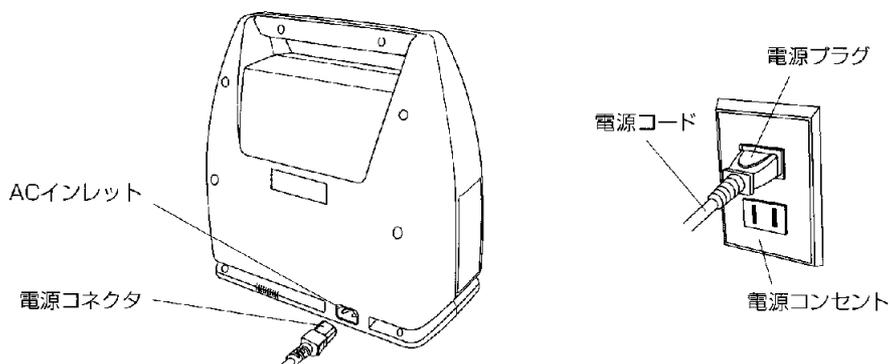


使用後は、電源スイッチを「O」（OFF）にして、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。事故につながる可能性があります。

初めて使用する場合、またはしばらく使用しなかった場合は、本機が正常に作動することを、「使用手順」に従って確認してください。特に次のことを注意して確認してください。

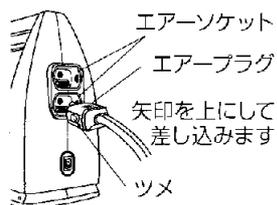
1. 運転/停止ボタンで「運転」、「停止」を確実に行うことができますか。
2. 加圧・除圧が正しい順番で行われていますか。
3. タイマーの設定時間で停止しますか。
4. 圧力設定ボタンで圧力の変更は正しく行われていますか。

1. 電源コードの電源コネクタを本体背面のACインレットに接続し、電源プラグを電源コンセント（AC100V）に差し込みます。



2. ブーツ（アームバンド）のエアプラグを本体のエアソケットに接続します。エアプラグのツメが「カチッ」というまで奥に差し込みます。

注) 片足だけで使用する場合は、使用するブーツのエアプラグだけを本体のエアソケットに接続してください。



3. 電源スイッチを「I」（ON）にします。電源ランプが点灯します。



←「I」を押す



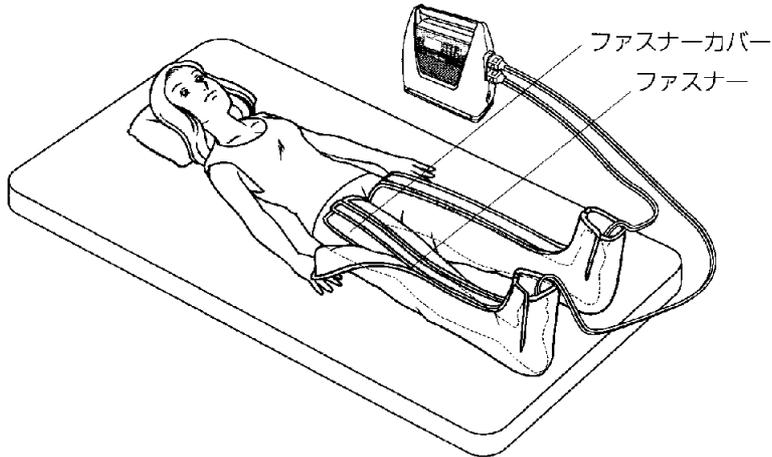
4. ブーツを脚にまたはアームバンドを腕に装着します。

ブーツを使用する場合

◆ブーツの底にかかとがつくように、深くはいてください。

ブーツを装着するときは、ファスナーが直接脚に触れないようにファスナーの裏側に付いているファスナーカバーを脚の上にかぶせてから、ファスナーを閉めてください。

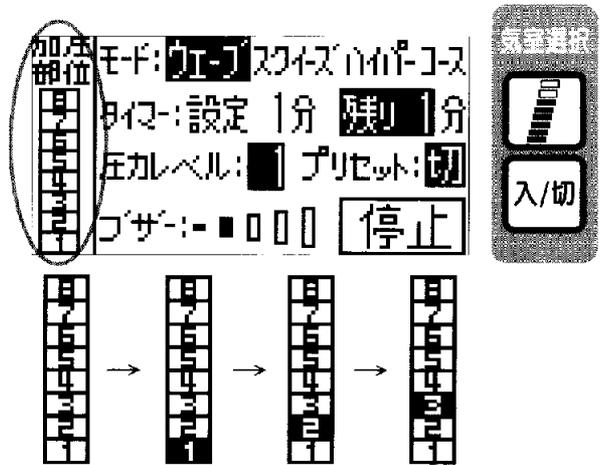
皮膚やストッキング、ズボン等をはさむ恐れがあります。



◆気室選択ボタンにより長さ調節や加圧しない気室を選択できます。

気室選択ボタンを押すごとに液晶の加圧部位の選択が切り替わり、気室入/切ボタンを押すと、選択された気室表示の表示と非表示が切り替わります。非表示の気室は加圧されません。加圧しない気室は4つまで設定できます。

運転中に加圧しない気室を切り替えた場合、除圧を行った後（このとき液晶の運転が点滅する）変更された気室で運転が再開されます。

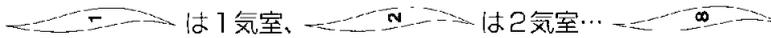
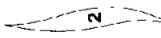


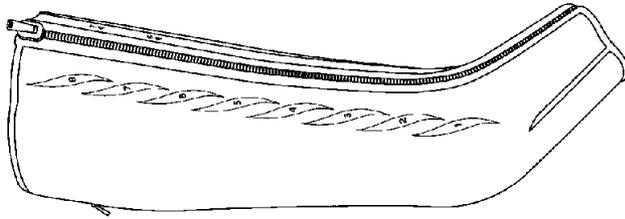
気室選択の例

液晶表示				
加圧気室	1~8	1~6	1・2・3・5・6	1・2・5・6

※ブーツの印について

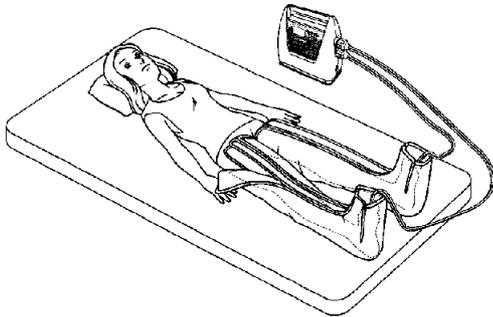
ブーツに表示されている印は、気室の場所を表しています。

 は1気室、 は2気室… は8気室となっています。
気室設定する際の目安としてご使用ください。

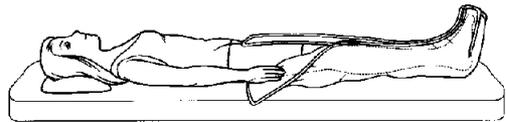


◆ブーツの長さ調節は次のように行ってください。

1. ブーツの底にかかとがつくように、深くはきファスナーを半分ほど閉めます。

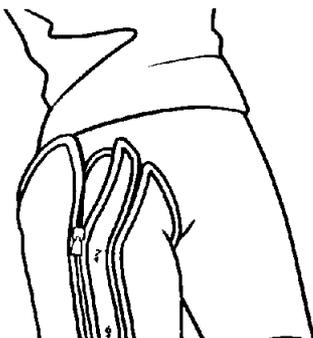


2. このとき長すぎる部分はおしりの下に敷くようにします。



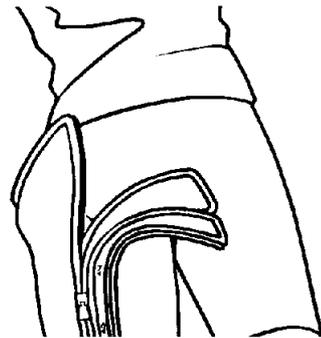
3. ファスナーを股下まで閉めます。

ファスナーがファスナー交換ベルトの印⁷より上にあれば気室選択ボタンで8気室と7気室を非表示にします。



※気室を7室に設定した場合は印⁷より下にファスナーを止めないでください。
ファスナーが破損することがあります。

印⁷と印⁸の間にあれば気室選択ボタンで8気室と7気室を非表示にします。

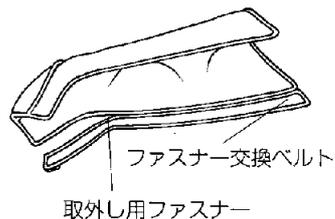


※気室を6室に設定した場合は印⁸より下にファスナーを止めないでください。
ファスナーが破損することがあります。

※ブーツを小さく感じる方は、Lサイズベルト脚用（別売品）をお求めください。
 ブーツが小さいとマッサージの効果が十分発揮できない場合があります。



※ファスナーが破損したとき（「ファスナー交換ベルト」の交換方法）
 ブーツは、ファスナーが破損すると、気室に異常がなくても使用できません。このようなときは、破損した「ファスナー交換ベルト」を新品の「ファスナー交換ベルト」（別売品）に交換してください。「ファスナー交換ベルト」には、「取外し用ファスナー」がブーツの内側にあります。ブーツを開いた状態にして、破損した「ファスナー交換ベルト」を取外し、新品の「ファスナー交換ベルト」を取付けてください。

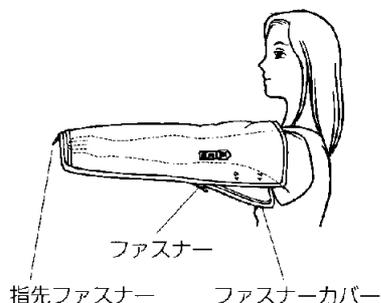


注) 「ファスナー交換ベルト」を交換するとき以外は、「取外し用ファスナー」を使用しないでください。

アームバンドを使用する場合

◆アームバンドの指先ファスナーが閉じているときは指先がファスナーに当たらない程度に、指先ファスナーが開いているときは指先がはみ出さない程度に深く装着し、指先を伸ばした状態で使用してください。

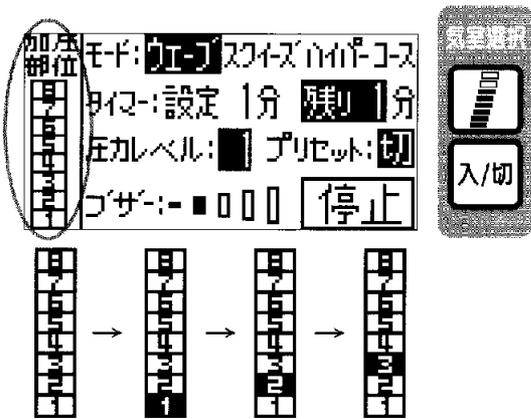
また、ファスナーの裏側に付いているファスナーカバーが腕とファスナーの間にあることを確認しながら、ファスナーを閉めてください。皮膚や衣類等をはさむ恐れがあります。



◆気室選択ボタンにより長さ調節や加圧しない気室を選択できます。

気室選択ボタンを押すごとに液晶の加圧部位の選択が切り替わり、気室入/切ボタンを押すと、選択された気室表示の表示と非表示が切り替わります。非表示の気室は加圧されません。加圧しない気室は4つまで設定できます。

運転中に加圧しない気室を切り替えた場合、除圧を行った後（このとき液晶の運転が点滅する）変更された気室で運転が再開されます。



気室選択の例

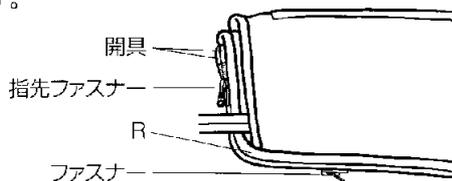
液晶表示				
加圧気室	1~8	1~6	1・2・3・5・6	1・2・5・6

◆ファスナーの開閉について。

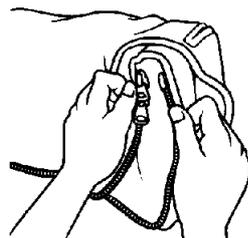
指先ファスナーを用いると、指先部分のみの開閉ができます。

- 指先まで圧迫力を加えたい場合は指先ファスナーを閉じてください。

※指先ファスナーはR部まで開かないでください。ファスナーが破損することがあります。

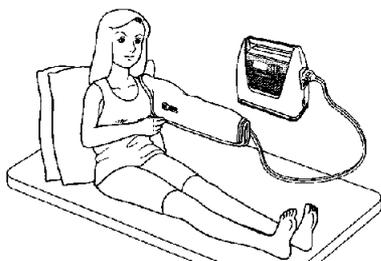


- 外れたファスナーをはめるときは、ファスナーを2つとも指先側に寄せ、左右の開具を噛み合わせてください。

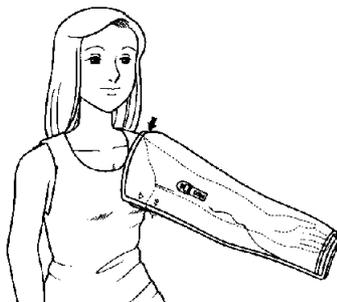


◆アームバンドの長さ調節は次のように行ってください。

1. 指先ファスナーが閉じているときは指先がファスナーに当たらない程度に、指先ファスナーが開いているときは指先がはみ出さない程度に深く装着し、指先を伸ばした状態で使用してください。

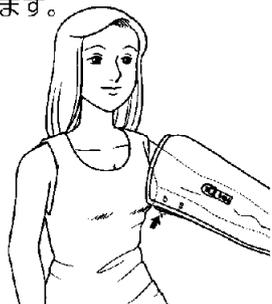


2. このとき長すぎる部分は肩を覆うようにします。



3. ファスナーを脇の下まで閉めます。

ファスナーがファスナー交換ベルトの印◀7より上にあれば気室選択ボタンで8気室を非表示にします。



※気室を7室に設定した場合は印◀7より下にファスナーを止めないでください。ファスナーが破損することがあります。

印◀7と印◀6の間であれば気室選択ボタンで8気室と7気室を非表示にします。

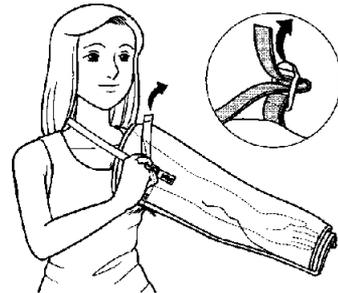
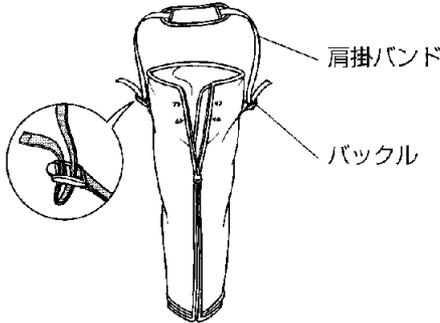


※気室を6室に設定した場合は印◀6より下にファスナーを止めないでください。ファスナーが破損することがあります。

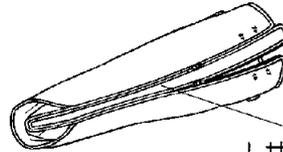
※使用中にアームバンドがズレ落ちる場合は付属の肩掛バンドを使用してください。

付属の肩掛バンドをバックルに通し、取付けます。

アームバンドを装着し肩掛バンドの端を引いて長さを調節します。

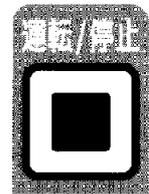
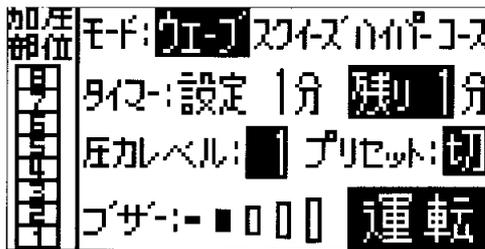


※アームバンドを小さく感じる方は、Lサイズベルト腕用（別売品）をお求めください。アームバンドが小さいとマッサージの効果が十分発揮できない場合があります。



Lサイズベルト腕用（別売品）

- 5.** 運転/停止ボタンを押して、運転・停止ができるかの作動テストを行います。運転/停止ボタンを押す毎に、運転と停止が交互に切り替わり液晶で表示されます。運転中はポンプが作動します。

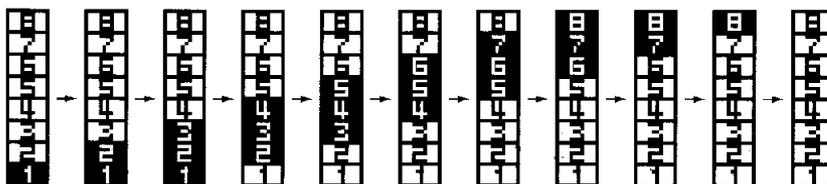


運転/停止ボタン

次に加圧・除圧の順番をウェーブモードで確認します。

ウェーブモードは下図（液晶でもアニメーションで表示されています）のように足先から太もも（指先から上腕）に向かって部分的に加圧・除圧します。順番通りに加圧・除圧が繰り返されているか確認してください。

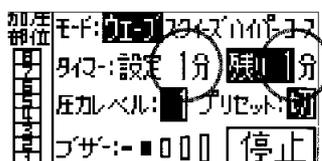
完了したら、運転/停止ボタンを押して停止させます。



■ は加圧
□ は除圧

6. タイマー、圧力、ブザー、プリセット、コントラスト、モードの設定を行います。

◆タイマーは1～30分まで1分毎に設定できます。タイマー設定ボタン▲を押すと長くなる方向に▼を押すと短くなる方向に切り替わり、液晶で表示されます。また、1秒以上長く押すと5分毎に切り替わります。但し、運転中は操作できません。



タイマー設定ボタン

◆圧力は10段階から設定します。圧力設定ボタン▲を押すと強くなる方向に、▼を押すと弱くなる方向に切り替わり、液晶で表示されます。運転中に圧力設定の変更を行った場合、除圧後（このとき液晶の運転が点滅する）変更された設定圧力で運転が再開されます。



圧力設定ボタン

⚠注意



高齢者の方はハイパーモードまたはコースモードで使用しないでください。また、圧力設定は「6」以下で使用してください。事故につながる可能性があります。



使用前に必ず圧力設定を「1」に設定してください。事故につながる可能性があります。

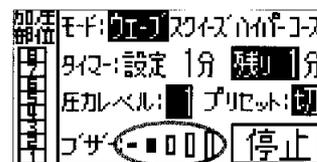
通常、圧力設定は「6」以下で使用してください。特にお肌の弱い方は、圧迫痕が残ることがあります。

圧力レベル	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
気室圧力kPa (mmHg)	3.0 (22.5)	3.9 (29.3)	4.8 (36.0)	5.7 (42.8)	6.6 (49.5)	7.4 (55.5)	8.3 (62.3)	9.2 (69.0)	10.1 (75.8)	11.0 (82.5)

◆ブザーの音量は5段階から設定します。ブザー音量設定ボタンを押すごとに、次の順番で切り替わり液晶で表示されます。

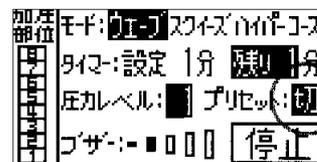
••••• は無音です。

••••• → ••••• → ••••• → ••••• → •••••



ブザー音量設定ボタン

◆プリセット入/切ボタンを押すごとに「設定を記憶する状態」か「設定を記憶しない状態」に切り替わります。液晶のプリセットが「入」のときは電源を「○」(OFF)にしてもモード、圧力、タイマー、ブザー、気室選択が記憶されます。プリセットが「切」のときは、電源を「○」(OFF)にするとモード「ウェーブ」、圧力「1」、タイマー「1」、ブザー「2」、気室選択「全て加圧」に設定されます。

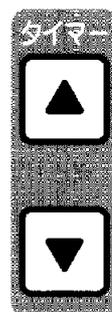


プリセット入/切ボタン

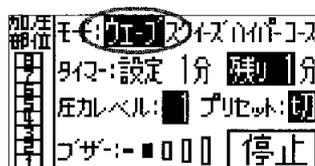
◆液晶表示のコントラストは、気室入/切ボタンを押しながらタイマー設定ボタンの▲▼を押して調節します。

▲を押すとコントラストは濃くなり、▼を押すとコントラストが薄くなります。

お好みのコントラストでご使用ください。



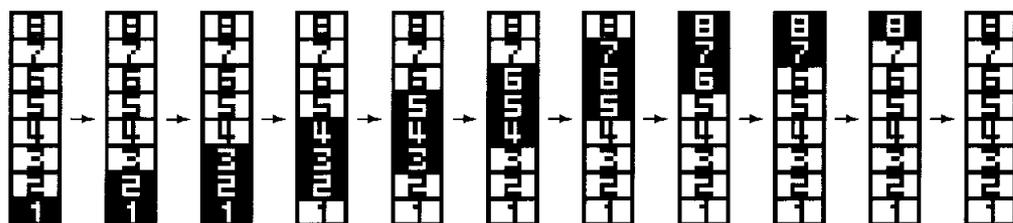
◆モードはウェーブ、スクイーズ、ハイパーの3種類とその3つを組み合わせたコースがあります。モード設定ボタンを押すごとにモードが切り替わり液晶で表示されます。運転中にモードの変更を行った場合、除圧後（このとき液晶の運転が点滅する）変更されたモードで運転が再開されます。



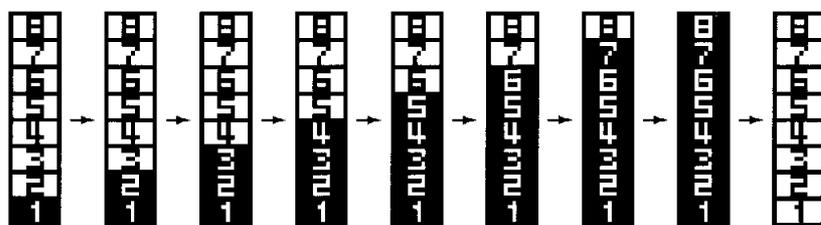
モード設定ボタン

モードの説明（液晶でもアニメーション表示されます）

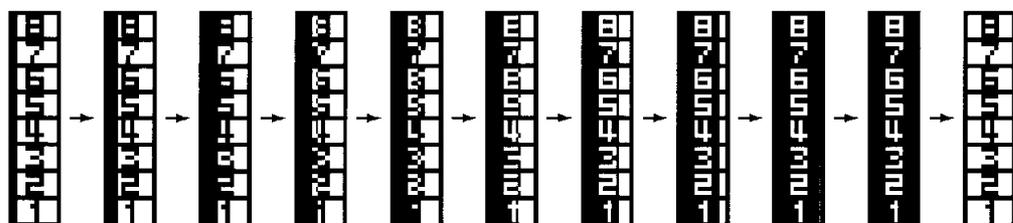
ウェーブ：足先から太もも（指先から上腕）に向かって部分的に加圧します。



スクイーズ：足先から太もも（指先から上腕）に向かって順番に加圧し、全室一気に除圧します。



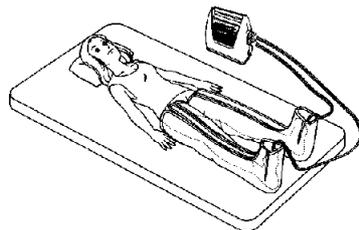
ハイパー：全室一気に加圧し、全室一気に除圧します。



コース：「ウェーブ2回→スクイーズ2回→ハイパー1回→スクイーズ2回→ウェーブ2回」の動作を繰り返します。

- 7.** これで準備完了です。
椅子やソファを使ったり、横になるなど楽な姿勢で行ってください。
また、本体は手で操作できる場所に置いてください。

※ヒザまたはヒジは伸ばした状態でご使用ください。
加圧されない場合があります。



⚠ 注意



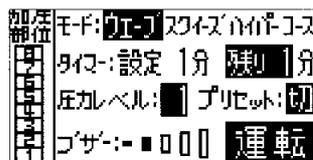
本体は使用中、操作できる所に置いてください。事故につながる場合があります。

- 8.** 運転を開始します。
運転/停止ボタンを押すと、運転が開始されます。
(液晶に「運転」と表示されます。)

※安全対策のため、加圧中にヒザまたはヒジを曲げたり、
気室を押えたりすると本体が停止する場合があります。
この場合は電源スイッチ「○」(OFF)にして、「|」(ON)
にするところから始めてください。

途中で停止したいときは、運転/停止ボタンを押してください。
タイマーの設定時間終了時は、ブザーでお知らせします。

※タイマーの残り時間が0分になると、モード、圧力、気室選択の設定変更はできません。

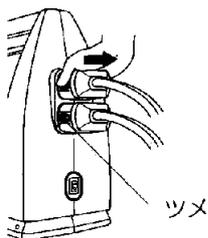


⚠ 注意

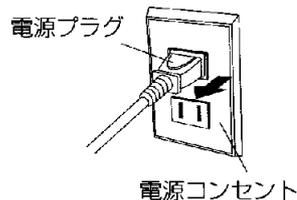


身体に異常を感じたときは、直ちに使用を中止し、医師と相談してください。
使用を続けた場合、身体に悪影響を及ぼす原因になります。

- 9.** マッサージが終了したら、
ブーツ (アームバンド) 内の
空気がよく抜けてから
ブーツ (アームバンド) を
外してください。エアー
ソケットからエアープラグ
を抜くときは、エアー
プラグのツメを押しながら
抜いてください。



- 10.** 使用後はプリセット入/切ボタンを押し、液晶のプリ
セットを「切」にしてから、電源スイッチを「○」
(OFF) にして (電源ランプが消灯) 電源プラグを
電源コンセントから抜いてください。



⚠ 注意



電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、
電源コードを引張らず電源プラグを持って引き
抜いてください。

お手入れと保管

⚠ 注意



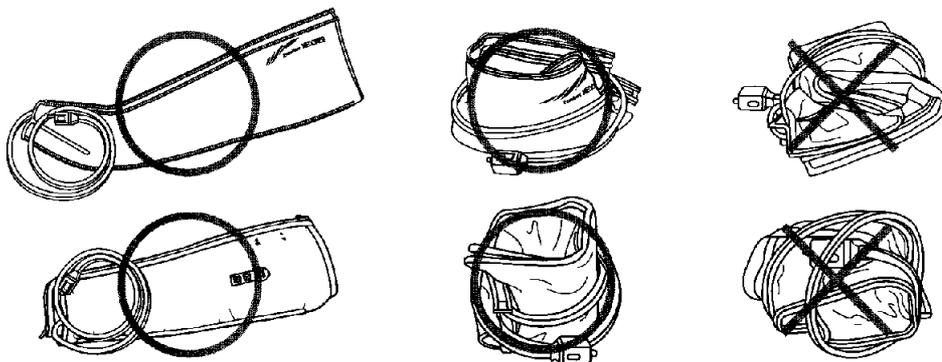
お手入れの際は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。感電の原因になります。

お手入れ

- 本体の汚れは、ぬるま湯か中性洗剤を含ませよくしぼった布で拭いてください。
※ 水洗いしないでください。また、ベンジン、シンナー等は使用しないでください。
- ブーツ（アームバンド）の汚れは蒸しタオルで軽く拭き、内側を表にして風通しのよい所で陰干ししてください。
注）本体のエアースOCKETおよびブーツ（アームバンド）のエアープラグに取付けられているコネクタは濡らさないでください。故障の原因になります。

保管

- 各部の汚れをとった後、直射日光の当たる場所や湿気の高い場所を避けて保管してください。
ブーツ（アームバンド）およびブーツ（アームバンド）に取付けられているホースは伸ばした状態か、ゆるく巻いた状態で保管してください。



定期点検のお願い

次のような症状がないか点検してください。

- 電源スイッチを「|」（ON）にしてもときどき操作できないことがある。
- 電源コードにキズがある。
- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 動作中に異常な音・振動がある。
- 本体が変形したり、こげくさいにおいがする。
- 電源コードを動かすと、停止する場合がある。



このような症状のときは、直ちに使用を停止し、お求めの販売店に点検・修理を依頼してください。

故障と思ったとき

警告



本機の改造、分解、修理は絶対にしないでください。事故の原因になります。

状態	原因	処置
本体を操作できない。	電源プラグが電源コンセントから抜けていませんか。	電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
	運転スイッチを「 」(ON) にしましたか。	運転スイッチを「 」(ON) にします。
	タイマー残り時間が0分になっていませんか。	異常ではありません。 (0分になると操作できません。)
ブーツ (アームバンド) が加圧されない。	運転/停止ボタンを押しましたか。	運転/停止ボタンを押します。
	ブーツ (アームバンド) のエアプラグが本体のエアソケットから抜けていませんか。	ブーツ (アームバンド) のエアプラグを本体のエアソケットに差し込みます。
	ブーツ (アームバンド) やホースに穴があいていませんか。	新しい物を購入してください。
	ホースが折れていたり、ホースに重い物が載っていませんか。	折れをなくし、重い物を取り除きます。
	ヒザまたはヒジを曲げていませんか。	ヒザまたはヒジを伸ばします。
待機中または運転中にブザー音が発生し、液晶に「異常」が表示される。	本体の安全装置が作動しています。 (加圧中にヒザまたはヒジを曲げたり、気室を押えたりすると気室の圧力が上昇して安全装置が作動する場合があります。)	電源スイッチを「○」(OFF) にしてから「使用手順」にしたがって、最初から始めてください。 (加圧中はあまり動かないようにしてください。)
運転中、本体の音が変わる。	マイコンでポンプを制御しているためです。	異常ではありません。
運転中、モードや圧力設定、気室選択を切り替えると除圧状態になる。	安全対策のため除圧状態になります。 その後、変更された設定で運転が再開されます。	異常ではありません。
除圧中にブーツ (アームバンド) から排気音がする。	ブーツ (アームバンド) に内蔵された電磁弁からの排気音です。	異常ではありません。
運転中にブーツ (アームバンド) から「カチッ」と音がする。	ブーツ (アームバンド) に内蔵された電磁弁の作動音です。	異常ではありません。

上表の点検後もなお異常がある場合には、直ちに使用を中止し、お求めの販売店に点検・修理を依頼してください。

ブーツまたはアームバンドおよび本体の廃棄方法

ブーツまたはアームバンドおよび寿命の終わった本体の廃棄に関しては、地域で定める条例に従って廃棄して下さい。分別のためにブーツ(アームバンド)または本体を分解する場合は、けがをしないように手袋などをして行ってください。

仕様

電源電圧 (V)	AC100	空気圧設定範囲 (kPa)	3~11
電源周波数 (Hz)	50/60	(mmHg)	23~83
消費電力 (W) 〈待機中〉	45 〈9〉	定格時間 (分)	30
※もみ上げサイクル (秒) 圧力設定「6」の参考 (ブーツ2本) 〈アームバンド〉	ウェーブモード (約61/64) 〈約43/45〉	質量 (重量) (kg)	本体 6.8
	スクイーズモード (約57/59) 〈約43/44〉		ブーツ 1.2 (1本)
	ハイパーモード (約30/31) 〈約20/20〉		アームバンド 0.9
タイマー設定時間	1~30	寸法 (mm)	本体 345(H)×324(W)×169(D)

※もみ上げサイクルは、設定圧力や体型などにより大きく異なります。

保証・サービスについて

製品に添付されている保証書は、大切に保管してください。保証書についている保証登録カードは表裏の所定欄に、必ずご記入のうえ、至急お送りください。当社の保証登録台帳に登録されます。保証期間はご購入の日から1年間。「正常な使用状態」で万一故障が起きた場合には、無料で修理させていただきます。(但し、消耗品は除きます。)

※ブーツ (アームバンド) は消耗品ですので保証の対象外となります。

※補修用性能部品の保有期間 6年

当社は、本製品の補修用性能部品の、製造打ち切り後6年保有しています。

保有期間後の修理受付は致しませんので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

別売品のご案内

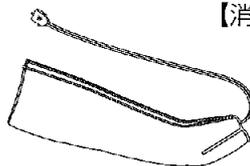
Y-120 (Lサイズベルト脚用)

【消耗品】



B-120 (ブーツ)

【消耗品】



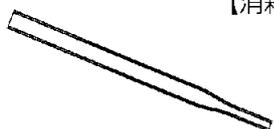
Z-120 (ファスナー交換ベルト)

【消耗品】



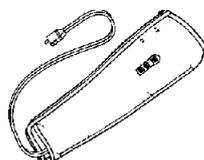
YA-120 (Lサイズベルト腕用)

【消耗品】

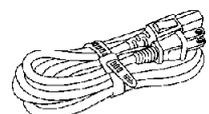


U-120 (アームバンド)

【消耗品】



CAB-100 (電源コード)



メドマー専門店
クアイデンキ
有限会社 九合電気

〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1340

TEL 0276-45-0221 FAX 0276-47-0514

Mail medo@medomer.biz

〈お客様ご相談窓口〉メドー産業株式会社

 **0120-265521**

受付時間 AM9:00~PM5:00 (祝祭日を除く月~金)

販売元



メドー産業株式会社

本社 〒146-0081 東京都大田区仲池上2-9-4 TEL.03 (5748) 5521(代表) FAX.03 (3754) 0258
大阪支店 〒537-0001 大阪市東成区深江北2-10-10 TEL.06 (6976) 3271(代表) FAX.06 (6976) 3841

製造販売元



日東工器株式会社

本社・研究所 〒146-8555 東京都大田区仲池上2-9-4 TEL.03 (3755) 1111(代表) FAX.03 (3755) 5294

エクセレントメドマー EXM-12000A

【警告】

次の人は、本機の使用を禁止します。

- ・医師からマッサージを禁じられている人
(例：血栓(塞栓)症、重度の動脈りゅう(瘤)、急性静脈りゅう(瘤)、各種皮膚炎および皮膚感染症[皮下組織の炎症を含む]など)
- ・発症後 6ヶ月以内の下肢深部静脈血栓症を患っているか、もしくはその恐れのある場合。
※「下肢深部静脈血栓症」とは、下肢全体または膝より下が腫れ上がって痛みがあり、立ったり歩いたりすると痛みが強くなる自覚症状のあることをいいます。
- ・装着部におでき、やけど、虫さされなどの急性炎症や化膿性疾患がある場合。

本機の改造、分解、修理は絶対にしないでください。【事故の原因になります。】

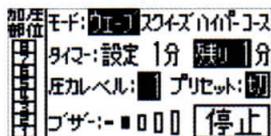
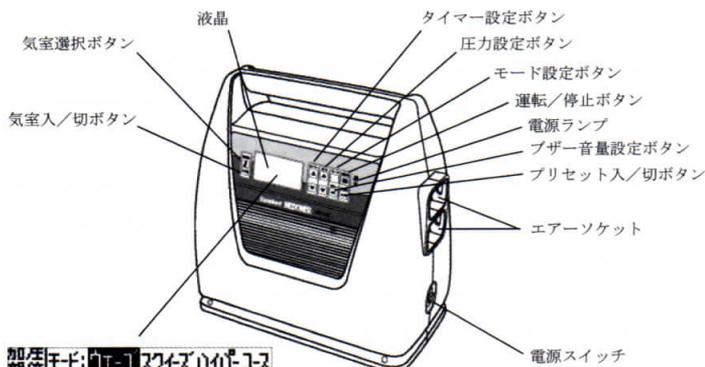
【禁忌・禁止】

他の治療器と同時に使用しないでください。

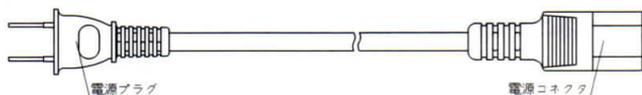
【本機の効果が十分発揮できないばかりか、身体に悪影響を及ぼす原因になります。】

【形状・構造等】

〈本体〉



液晶表示



本体の寸法及び質量

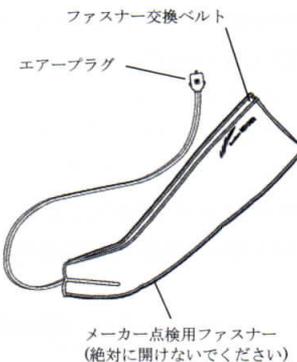
- ・寸法 縦 345×横 324×奥行 169(mm)
- ・質量 6.8kg

電氣的定格

- ・定格電圧 AC100V (50/60Hz)
- ・定格消費電力 45W
- ・定格時間 30分

〈カフ〉

- ・ブーツ



寸法[mm]

ブーツ丈：800

ふくらはぎ部周長：460

下腿部周長：680

質量：1.2 kg

- ・アームバンド



寸法[mm]

アームバンド丈：710

指先部周長：320

上腕部周長：460

質量：0.9kg

動作原理

本体にはコンプレッサおよび制御回路が、装着部(カフ)には電磁弁が内蔵されている。コンプレッサと電磁弁は制御回路により制御され、カフの各気室は制御回路のプログラムに従い加圧・除圧を繰り返す。圧力センサーが故障した場合、制御回路のプログラムにより停止させる。万が一、制御回路のプログラムが正常に働かなかつた場合は、圧力スイッチにより一次入力を遮断する。

【使用目的、効果又は効能】

- ・血行促進
- ・疲労回復
- ・筋肉の疲れ、こりをほぐす

* 【品目仕様等】

圧力設定範囲(kPa)	3~11
(mmHg)	23~83
もみ上げサイクル(秒) (ブーツ 2本・圧力「6」のとき)	ウェーブモード 約 <u>61/64</u>
	スクイーズモード 約 <u>57/59</u>
	ハイパーモード 約 <u>30/31</u>
もみ上げサイクル(秒) (アームバンド・圧力「6」のとき)	ウェーブモード 約 <u>43/45</u>
	スクイーズモード 約 <u>43/44</u>
	ハイパーモード 約 <u>20/20</u>

※もみ上げサイクルは、圧力設定・体型によっても変わります。

取扱説明書を必ずご参照ください。

【操作方法又は使用方法等】

ご使用に当たっては、取扱説明書をよくお読みになってご使用ください。また、機器に異常がないか確認してからご使用ください。

(1) 使用時間・使用頻度

1回の使用時間：30分以下

使用間隔：3時間以上

(2) 操作方法

- 1) 電源コードの電源コネクタを本体のACインレットに接続し、電源プラグを電源コンセントAC100Vに差込みます。
- 2) エアープラグを本体のエアースケットに差し込みます。
- 3) 電源スイッチを「|」(ON)にします。
- 4) カフを被装着部に装着します。
- 5) 運転/停止ボタンを押して運転と停止ができるか確認をします。
- 6) ウェーブモード、圧力「1」で加圧・除圧の順番が末梢から中枢に向かっているか確認をします。
- 7) タイマー、圧力、ブザー、プリセット、モードの設定、気室の選択をします。
- 8) 運転を開始します。必要に応じて圧力の設定を変更します。
- 9) 使用後は、プリセット入/切ボタンを押し、液晶画面のプリセット表示を「切」(設定内容否記憶)にさせてから電源スイッチを「O」(OFF)にし、電源プラグを電源コンセントから抜きます。
- 10) 本体およびカフは、次の使用に差支えないように保管します。

(3) 安全装置

圧力スイッチが内蔵されています。

本体の異常により圧力が上昇すると、圧力スイッチが作動し停止します。

【使用上の注意】

次の人は必ず医師と相談のうえ使用してください。

症状や病因によっては使用に適さない場合があります。

- ・ペースメーカーなどの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器を使用している人
- ・悪性しゅよう(腫瘍)のある人
- ・心臓に障害がある人
- ・妊娠初期の不安定期又は出産直後の人
- ・糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人
- ・皮膚に創傷のある人
- ・安静を必要とする人
- ・体温 38℃以上(有熱期)の人
(例：急性炎症症状[けん(倦)怠感、悪寒、血圧変動など]の強い時期、衰弱している時。)
- ・骨粗しょう(鬆)症の人、せきつい(脊椎)の骨折、ねんざ(捻挫)、肉離れなど、急性[とう(疼)痛性]疾患の人
- ・本機を使用しても症状の改善が見られない人
- ・本機の使用によりかえって疼痛の増す人
- ・高血圧症と診断されている人
- ・特に身体に異常を感じている人
- ・皮膚の弱い人
- ・治療部位に疾患から生じるむくみや疼痛のある人
- ・治療部位に骨折、脱きゅうのある人
- ・自覚症状の意思表示ができない人
- ・上記以外の疾患で医師の治療を受けている人
- ・腱鞘炎の人(アームバンド使用時に限る)

(1) 使用環境及び使用条件

- ・浴室などの湿気の多い場所で使用しないでください。[故障・感電・火災の原因になります。]
- ・子供だけで使用させたり、幼児の手の届くところで使用しないでください。[事故につながる可能性があります。]
- ・付属のカフまたは専用の別売品以外は使用しないでください。
- ・ストーブなどの火気の近くで使用しないでください。[火災・故障の原因になります。]
- ・他の治療器と同時に使用しないでください。[本機の効果が発揮できないばかりか、身体に悪影響を及ぼす原因になります。]
- ・異なるカフを同時に使用しないでください。[事故につながる可能性があります。]
- ・治療目的以外には使用しないでください。
- ・自分で意思表示できない人に使わせしないでください。[事故につながる可能性があります。]
- ・マイクロ波治療器のアプリケーションからは1.5メートル以上離してご使用ください。[事故や故障の原因になります。]

(2) 使用前の注意事項

- ・初めて使用する場合、または、しばらく使用しなかった場合は、取扱説明書をよく読み、正常に作動するか確認してからご使用ください。
- ・電源コード、エアープラグは正しく確実に接続してください。
- ・操作ボタン(タイマー、圧力、モード、運転/停止、ブザー、気室選択、気室入/切、プリセット)および電源スイッチが正常に作動することを確認してください。
- ・使用前に縫製品の破れの有無を点検し、破れがあるときは使用中を中止してください。
- ・カフを装着するときは、被治療部のポケットなどに物が入っていないことを確かめてください。[けがをしたり、カフ破損の原因になります。]
- ・カフは決められた部位に装着してください。[正しい部位に装着されていない場合、身体に悪影響を及ぼしたり、事故の原因になります。]
- ・ホースは折れたり潰れたりした状態で使用しないでください。[加圧・除圧が正常に行われず身体に悪影響を及ぼす原因になります。]
- ・カフは踏みつけたり投げたりしないでください。[カフ内部に取付けられている電磁弁により足裏を負傷したり、電磁弁やカフ破損の原因になります。]
- ・使用前に必ず圧力設定を「1」に設定してください。[事故につながる可能性があります。]

(3) 使用中の注意事項

- ・身体に異常を感じたときは、直ちに使用を中止し、医師と相談してください。[使用を続けた場合、身体に悪影響を及ぼす原因になります。]
 - ・本機に異常(発煙、手で触れないほど熱い、音が急に大きくなった等)を感じたときは、直ちに使用を中止し電源プラグを電源コンセントから抜いてください。その後、お求めの販売店に連絡してください。[使用を続けた場合、火災や感電の原因になります。]
 - ・30分を超えての使用はしないでください。[筋肉に対して必要以上の刺激となります。]
- また、次の使用までには少なくとも3時間以上の間隔をあけてください。
- ・使用中に停電した場合は、直ちに電源スイッチを「○」(OFF)にして、電源プラグを電源コンセントから抜き、エアープラグをエアースOCKETから抜いてください。[事故につながることがあります。]
 - ・使用中にカフの加圧・除圧に異常を感じた場合(加圧が異常に長い、または、除圧しない等)は、すぐに本体のエアースOCKETからエアープラグを抜き、カフを被治療部から外してください。また、本体は電源スイッチを「○」(OFF)にして電源プラグを電源コンセントから抜いてください。[使用を続けた場合、身体に悪影響を及ぼす原因になります。]
 - ・本体は使用中、操作できる所に置いてください。[事故につながることがあります。]
 - ・使用中に立ち上がったたり、歩いたりしないでください。[事故につながることがあります。]
 - ・使用中にカフのファスナーが開く場合は、ファスナーの破損です。[皮膚、衣類等をはさむ恐れがありますので、すぐに使用を中止してください。]
 - ・通常、圧力設定は「6」以下で使用してください。[特に肌の弱い方は、圧迫痕が残ることがあります。]
 - ・高齢者の方は「ハイパーモード」または「コースモード」で使用しないでください。また、圧力設定は「6」以下で使用してください。[事故につながることがあります。]

(4) 使用後及び保管の注意事項

- ・使用後は、プリセット入/切ボタンを押し、液晶画面のプリセット表示を「切」(設定内容否認記憶)にさせてから電源スイッチを「○」(OFF)にして、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。[事故につながることがあります。]
- ・電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、電源コードを持って引き抜かないでください。また、電源コードを無理に曲げたり、重いものを載せないでください。
- ・各部の汚れをとった後は、直射日光の当たる場所や湿度の高い場所を避けて保管してください。
- ・カフに取付けられているホースは、伸ばした状態か、ゆるく巻いた状態で保管してください。
- ・ホースおよびカフは折り曲げたり、重い物を載せたりした状態で保管しないでください。[ホースに折れや潰れ癖がつくと、加圧・除圧が正常に行われず身体に悪影響を及ぼす原因になります。また、ホースおよびカフ内にあるケーブル断線の原因になります。]
- ・本体およびカフが汚れた場合は、蒸しタオルで拭いて、良く乾かしてください。

- ・本体を保管するときは、電源コードを本体にまかないでください。[電源コードの接続部が断線し、火災や感電の原因になります。]

【取扱い上の注意】

- (1) 取扱いを間違えると不具合を生じることがありますので、使用方法、使用上の注意等を厳守してください。
- (2) 消耗品および寿命の終わった本体の廃棄に関しては、地域で定める条例に従って廃棄してください。

【保守・点検に係わる事項】

- (1) 常に使用前後の点検を励行し、故障又は異常が認められた場合には、販売店または製造販売元に点検修理を依頼してください。
- (2) 機器は、改造しないでください。

【包装】

	ブーツセット	アームバンドセット
本体	1	1
ブーツ	2	
アームバンド		1
その他	電源コード、添付文書、取扱説明書、保証書アンケートハガキ	

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売元 日東工器株式会社

住 所 〒146-8555

東京都大田区仲池上 2-9-4

電 話 03-3755-1111

F A X 03-3755-5294

製 造 元 栃木日東工器株式会社

販 売 元 メドー産業株式会社

住 所 〒146-0081

東京都大田区仲池上 2-9-4

電 話 03-5748-5521

F A X 03-3754-0258